

## 「第1回 ビブリオバトル はぴの陣」レポート

平成26年8月22日（金）、さいたま市図書館で初めてのビブリオバトルを開催しました。

テーマは「ドキドキする本」。10代におくるブックリスト「はぴ」の編集委員が準備・運営を担当しました。

中学生・高校生に参加を呼びかけたところ、今回は女子中学生5人がバトルーとしてエントリーしてくれました。

会場は、さいたま市立中央図書館イベントルーム。

観戦者も40人を超える人たちが集まりました。

そしていよいよバトルスタート。発表順は厳正なるくじ引きで決定しました。

### ①『心霊探偵八雲』神永学作 角川文庫

死んだ人の霊を見ることができる主人公・八雲が、後藤刑事や女子大生の晴香と協力して事件を解決するシリーズです。

オススメは、親代わりの叔父さんが殺されてしまい、その悲しみから立ち直った八雲が、初めて事件を解決する第7巻！



### ②『怪盗レッド』秋木真作 角川つばさ文庫



怪盗ルパンのように私利私欲のためではなく、正義のために盗みをするところが魅力的

常人離れした運動神経を持つ女子・アスカと、IQ200の天才男子・ケイ。そんな中学生二人の怪盗が主人公のシリーズ。

一番好きなのは1巻。父親からの告白がきっかけで怪盗になる場面では、主人公と一緒に驚いてしまったそう。

一人5分間のスピーチが終わるごとに、3分間の質問タイムがあります。最初はなかなか出なかった質問も、だんだんと増えていきました。

### ③『パセリ伝説』 倉橋燿子作 講談社青い鳥文庫

記憶をなくした少女パセリが、自分の運命を背負って敵に立ち向かうお話。

登場人物たちの、自分の間違いを認めることができる強さがかっこいいと、特に印象に残っている一節を読み上げてくれました。



質問タイムには、お孫さんに読ませたい、という感想も飛び出しました

### ④『からくり夢時計』 川口雅幸作 アルファポリス文庫



誰におすすめしたい?との質問には、  
「中一頃の、反抗期前の子に読んでもらいたい」

小学生の聖時（せいじ）が、約10年前、お兄ちゃんが小学生だった時代にタイムスリップする話。

聖時が生まれてすぐ亡くなった母親と初めて出会い、限られた時間の中で母の愛情を受ける場面が印象的だそうです。

## ⑤『怪盗クイーンと魔界の陰陽師』はやみねかおる作 講談社青い鳥文庫

怪盗クイーンが、助手のジョーカーや人工知能RDと共に宇宙船で世界中を移動し、いろいろなものを盗むシリーズ。

女の子のために宝石を盗むこの巻では、普段はのんきでありあまり仕事をしないクイーンが珍しくまじめに活躍して面白いと語ってくれました。



5人全員の発表が終了しました。

続いては投票タイム。参戦者・観戦者全員が、“一番読みたくなった本”に投票します。

そして、一番得票が多かった本が“チャンプ本”になります。

集計が終わったら、いよいよ結果発表です。

チャンプ本は…

④の『からくり夢時計』に決定！



チャンプ本を発表したバトラーにチャンプ本認定証が贈られます。

今回のプレゼンターはこの人！

「としょ丸しんぶん」で活躍中のとしょ丸です。

さらに、参加してくれたバトラー全員に、記念品のヌゥをプレゼント！

最後は、としょ丸を囲んで記念写真をパチリ。

こうして「第1回 ビブリオバトル  
はぴの陣」は幕を閉じたのでした。



今回発表したオススメの本は、平成27年1月発行の「はぴ」27号にも掲載  
します。

どうぞお楽しみに。

「はぴ」のバックナンバーは[こちらから](#)

今後もビブリオバトルを開催予定です。

みなさまの参戦をお待ちしています！

(記録：「はぴ」編集委員)